発行：認定NPO法人 国際エンゼル協会 INTERNATIONAL ANGEL ASSOCIATION

ANGEL NEWS

通巻217号
2026.10

7.25　海釣り体験学習

毎年夏休みになると、国際エンゼル協会で行っているこども食堂でこども達に夏休みの思い出となるイベントを企画しています。この夏はいつもこども食堂に魚を寄付してくださる武庫川渡船様にご招待いただき、食堂に来てくれているこども達と保護者の方と一緒に海釣り体験学習に行ってきました。

まずは船で沖へ渡り、竿を握って魚釣り。釣れた魚は、その場で処理の仕方を教わりながら自分たちの手で捌き、調理していただいて、命をいただく大切さを学びました。また、出たアラも肥料に変える工程を体験し、海の恵みを最後まで使い切ることを教わりました。活動の終わりには「なぜ朝早くに釣りに行くの?」「尼崎では何種類の魚が釣れるの?」など、こども達から次々と飛び出す素朴な疑問に、渡船屋の方が魚の習性や自然環境を交えながら丁寧に答えてくださいました。こども達も目を輝かせながら真剣に聞いており、説明を聞いた後も次から次へと質問が飛び出していました。

自然の中で楽しみながら学ぶこと。命の大切さや、身近な海の豊かさを肌で感じること。それは、教科書の文字からだけでは決して得られません。魚を捌く手が少しずつ慣れていく様子や、自分で処理した魚を「おいしい」と頬張る笑顔。そしてここで経験した全てのことがこども達にとって大切な思い出となり、一生ものの学びになったことと思います。今、こうした自然の中で学べる体験ができる場所は身近にたくさんあります。ぜひ皆さんも、お子様と一緒に自然の中での楽しい学びを体験してみてください。

事務局長　東村 良平

2026年10月　第217号

バングラデシュの未来を育てる「YURIKOエンゼルスクール」

国際エンゼル協会ではバングラデシュの将来を担う優秀な人材を育成することを目的に、独自運営のプライベートスクール「YURIKOエンゼルスクール」をバングラデシュ・ガジプール県にて運営しています。

同校では学力向上のための授業はもちろん、人間性を高める指導や文化活動、スポーツにも力を入れています。周辺は工場などが多い地域ですが、広い敷地内には静かな環境が広がり、こども達は落ち着いて勉強に集中することができます。

※2026年9月現在

生徒数　316人(1～10年生)［男子 158人・女子 158人］

学校生活　一日の流れ

8：00 登校

8：30 朝礼

・国旗掲揚
・国歌斉唱
・体　操
・連絡事項

9：00 授業開始

・1～4時限
※1～2年生は3時限
終了後に下校

12：00 昼休み

・昼食

12：30 授業再開

・5～7時限
※3～5年生は6時限
終了後に下校

14：30 放課後・下校

放課後は運動場で遊んだりしながら自由に下校

YURIKOエンゼルスクールには現在300名を超える生徒が通っています。ただ、この地域は田舎から出稼ぎにきている家庭が多く、住民の入れ替わりに伴って生徒の入れ替わりも少なくありません。それでも、少しの間でもここに通ってくれた一人ひとりが人間的に成長できるよう、丁寧な教育・指導を心がけています。

毎朝の全校朝礼では、規律を守ることの大切さをこども達に伝えています。あわせて体操を取り入れることで朝の緊張をほぐし、脳を活性化させてから授業に臨めるようにしています。

昼食の時間には、生徒達は併設のカフェテリアを利用しています。お弁当を持参する子もいれば、カフェで軽食を買う子もいて、それぞれのスタイルで過ごしています。席には限りがあるため、みんなで譲り合いながら利用しています。

また、バングラデシュの学校では珍しい図書室も備えています。授業の合間や放課後に自由に利用でき、勉強する子、本を借りて家で読書を楽しむ子など、それぞれが思い思いの使い方をしています。

田舎の学校の現状

バングラデシュの田舎の学校は広大な敷地に平屋の校舎が建っていることが多く、都会の学校のように冷房が整っていることはほとんどありません。電力事情から電球の数も限られているため、薄暗い教室で学ぶこども達も少なくありません。

また、こども達の数に対して学校の数も多くありません。そのため、一つの学校がカバーする学区が広くなり、通学に1時間以上かかるこどもも珍しくありません。一つの学校に多くの生徒が集まり、教室内で一人ひとりが使える机のスペースも限られてしまいます。都会との学習環境の格差が深刻な問題となっています。

文化活動

YURIKOエンゼルスクールでは、文化活動にも力を入れています。特に世界的な記念日には様々なプログラムを実施し、生徒達が自然と国際感覚を身に付けられるようにしています。また、当協会のスタディツアーで日本人が訪れた際には、意見交換や文化交流を積極的に行っています。

バングラデシュでは、ひと昔前の日本と同じように、暗記中心の教育が主流です。しかし、こうした授業以外の活動を活発に取り入れることで、生徒達は国際感覚とともに、自分達で考える力を養っています。

（世界環境の日）

スポーツ

バングラデシュには、日本のようなクラブ活動という文化がありません。そのため、スポーツができるこどもは、家計に余裕のある裕福な家庭の子に限られてしまうのが現状です。

YURIKOエンゼルスクールは都市部の学校としては比較的大きなグラウンドを保有しており、生徒達はサッカーやクリケットを楽しむことができています。またバスケットコートもあり、自分達でチームを作って練習に励んでいます。こうした環境に支えられ、YURIKOエンゼルスクールの生徒達は県内のさまざまなスポーツ大会で入賞するなど、優秀な成績を収めています。

購買部（オネスティショップ）

学用品などを購入する購買部にも、YURIKOエンゼルスクールならではの工夫があります。「人が見ていなくても正直に生きてほしい」そんな願いを込めて、「オネスティショップ（正直者の店）」と名付けられた購買部は、バングラデシュ国内で初めての無人販売を行う購買部となっています。

開始当初はとても珍しい取り組みとして注目を集め、全国ネットのテレビでも紹介されました。言葉で伝えるだけでなくこうした日々の経験を通して、こども達は誠実さと人間性を身に付けていっています。

都市部の学校の現状

バングラデシュの首都ダッカは、世界でもトップクラスの人口密度を誇る都市です。限られた土地に多くの人が暮らすため学校用地を十分に確保することが難しく、特に経済的に貧しい世帯が多いスラム地域では民家をそのまま利用している学校もあります。入り口は狭く一見するとどこにあるのか分からず、また校舎の数も足りないため、午前は低学年、午後は高学年というように交代制で運営しています。

一方で、裕福な家庭が多い地域には冷房設備が整い、グラウンドも備えた学校があります。こうして経済格差がそのまま学習環境の格差となり、都市部の中でも貧しさゆえに十分な教育を受けられないこどもがいることが大きな問題となっています。

2026年活動スローガン　「がんばろう 笑顔に出会うボランティア」

報　告　2026年7月～10月支援分

〈バングラデシュ〉

●活動・イベント

・YURIKOエンゼルスクールで「HIROSHIMA　DAY」のスピーチコンテストを行いました（8/6）

・スタディツアーで16名の会員の方がエンゼルホームを訪問しました（9/4～9/11）

・佐賀県のNPO法人「POSA」の医師らによってエンゼルホーム内の診療所でアイキャンプが行われ74名の白内障患者が無料で手術を受けました（9/19～9/23）

●寄付

・会員有志の方よりYURIKOエンゼルスクールに教材用ノートパソコン2台

〈国内活動〉

●あおぞら食堂「エンゼル」（こども食堂）への寄付

・認定NPO法人こども食堂支援センター「むすびえ」様よりサーキュレーター1台

・武庫川渡船様に御招待いただき尼崎で海釣り体験学習を実施

イベント情報

10/21(水)

秋のチャリティバザー

場所：本協会ボランティアセンター（伊丹市）

時間：10:00～14:00

＊日時・内容等都合により変更となる場合がございますので、ホームページなどでご確認お願いいたします。

お知らせ

国際エンゼル協会45周年お祝いの会

日　時　2027年1月23日（土）開場12:30/開演13:30

場　所　伊丹アイフォニックホール

※お申し込みは事務局まで（072-784-7504）

ホームページをリニューアルしました

このたび公式ホームページをリニューアルいたしました。活動報告・現地からの便り・イベント情報などがスマートフォンからも快適にアクセスできるようになりましたので、ぜひご覧ください。

編集後記

今年の夏も混声合唱団「エンゼル」の強化練習がありました。今回は2つのチームに分かれ、お互いの歌を聴き合う練習をしました。自分達が歌っている時には気づかない発見も多く、声の重なりや響きを改めて感じる貴重な機会となりました。暑い一日でしたが、とても実りのある練習になったと思います。来年の国際エンゼル協会創立45周年お祝いの会には混声合唱団「エンゼル」もコーラスで出演します。皆さまと一緒に45周年を楽しくお祝いできることを、今から楽しみにしています。

2026年 行事予定　10月現在

10月	21日(水)	秋のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市
11月	7日(土)	チャリティバザー	名谷駅前広場	神戸市
	7日(土)	チャリティバザー	さいたま市立中尾小学校	さいたま市
	28日(土)	チャリティバザー	JR六甲道南公園	神戸市
12月	19日(土)	街頭募金	JR天王寺駅前	大阪市

※行事予定はホームページ上にも掲載、随時更新しています。

会員募集

本協会の活動は皆さまの会費の他、募金や寄付金、バザーなどのチャリティイベントの収益金によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

●正会員

一般会員　年額1口 6,000円

特別会員　年額1口30,000円

●DCEF会員（教育里親）

1カ月1口 2,000円

※送金方法は現金書留又は郵便振替でお送り下さい。
郵便自動払込方法も受付けています。

郵便振替・口座番号
01130-1-59586

※その他、バザー用物資によるご協力もよろしくお願いします。

会員数：一般会員　566名
DCEF会員　484名
（10月1日現在）

国際エンゼル協会は1982年伊丹市において設立され、“世界に愛を”をスローガンに、発展途上国への理解と協力を通して国際間の友好を深めると共に、すべての人々が共存できる平和な世界の実現に寄与することを目的としています。

発行者

認定特定非営利活動法人
国際エンゼル協会

〒664-0862 兵庫県伊丹市若菱町6丁目10番地
TEL.072(784)7504　FAX.072(784)4608
Home Page ● http://www.angel-ngo.org
e-mail ● post@angel-ngo.gr.jp

ホームページ